

## 9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

### ① 組合消防費（防災安全課）

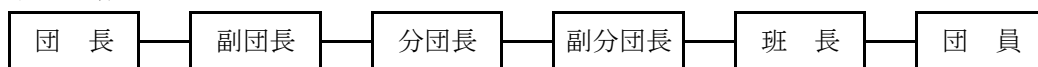
消防広域化による体制の強化充実のため、乙訓消防組合の運営経費について分担金を支出して応分の負担を行った。

## 9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

### ① 消防団活動費（防災安全課）

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、消防団長以下全消防団員が一致団結し、向日市及び乙訓消防組合向日消防署とともに協調を図りつつ、日夜防火防災活動に、また、各種訓練に鋭意努力し、市民生活の安心と安全確保に努めている。

#### 1 組織



物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野及び向日の各町に分団を置き、各分団は、分団長1人、副分団長1人及び班長3人の幹部並びに20数人の団員により編成。それぞれ消防ポンプ自動車1台、可搬式小型動力ポンプ1台を配置

#### 2 定員と現在員

条例定員 150人 現在員 150人

#### 3 年報酬と費用弁償

年 報 酬		(単位：円)
区 分	金 額	
団 長	214,000 円	
副 団 長	170,000 円	
分 団 長	100,000 円	
副 分 団 長	74,000 円	
班 長	60,000 円	
団 員	52,000 円	

費 用 弁 償		(単位：円)
区 分	金 額	
災 害 出 動	3,000 円	
警 戒 出 動	2,000 円	
訓 練 出 動	2,500 円	
賄 費	1,000 円	

#### 4 表 彰

(1) 京都府知事表彰	精励章	2人
(2) 日本消防協会会長表彰	精績章	該当者なし
	勤続章	該当者なし
(3) 京都府消防協会会長表彰	功績章	1人
	精績章	1人
	精勤章	2人

5 研 修

京都府立消防学校へ団員を派遣し、次の教育を受講した。

消防団員専科教育警防科（第24期）（1日）2人

消防団員幹部教育初級幹部科（第6期・南部）（1日）2人

消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程（第1期・南部）（1日）2人

6 訓練・教育

(1) 訓練

ア 幹部団員及び初級団員訓練

平成27年4月5日（日）に、第6向陽小学校において幹部団員及び初級団員訓練を実施し、幹部団員及び新入団員等に対して消防団活動に必要な規範訓練等を行った。

イ 水防訓練

平成27年5月31日（日）に、第4向陽小学校グラウンドにおいて市職員と合同で水防訓練を実施し、消防団員の水防活動技術の向上と水防体制の強化を図った。

ウ 向日市消防団消防訓練錬成会に伴う訓練

平成27年10月25日（日）に、第6向陽小学校グラウンドにおいて向日市消防団消防訓練錬成会を実施し、消防団員の士気高揚と意思統一を深め、消火技術の錬磨を図った。

エ 二市一町総合消防訓練（署・団合同訓練）

平成28年3月6日（日）に、パナソニックセミコンダクターソリューションズ（株）において、乙訓二市一町総合消防訓練が実施され、正副団長及び第1分団5人の計8名が参加し、消防団と消防署の連携を強めた。

(2) 団員教養

平成27年7月12日（日）に、向日消防署において消防団員を対象とした消防団員教養（普通救命講習）を実施した。

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況（単位：台）

整備項目	台数
定期車検整備台数	3
定期点検整備台数	3

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具（単位：個）

機 械 器 具	個 数	
小型動力ポンプ	6	
救 助 器 具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36
	チェーンソー	6
	コンクリート破壊器具	6

## ② 防火活動費（防災安全課）

消防行政に関する市民の声を的確に把握し、家庭における火災予防の普及徹底と防火思想の向上を図り、安全な地域づくりを目指すため、向日市女性防火推進員を置き、防火教室や救急講習を行い各種防火広報に努めた。

第11期女性防火推進員 30 人

## 9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

### ① 消防施設整備費（防災安全課）

#### 1 消防水利の整備状況

消防水利を常に良好な状態に保つために、乙訓消防組合向日消防署員による点検パトロールや水利標識等の交換を実施した。

#### 2 消防水利の状況（平成28年3月31日現在）

##### (1) 消火栓の状況

（単位：基）

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準	57	166	34	29	59	14	359
基準外	21	45	25	49	64	5	209
計	78	211	59	78	123	19	568

##### (2) 防火水槽の状況

（単位：基）

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準（有蓋） 40m <sup>3</sup> 以上	21	62	14	15	30	3	145
基準外（有蓋） 40m <sup>3</sup> 未満	2	3	1	3	0	0	9
計	23	65	15	18	30	3	154

##### (3) その他の水利の状況

（単位：箇所）

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
その他	1	1	0	0	2	1	5
計	7	10	1	0	3	3	24

## 9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

### ② 災害対策事業費（防災安全課）

#### 1 防災ハザードマップ活用事業

##### (1) 防災マップの作成

新たに内水ハザードマップを作成し、これまでの桂川や小畑川のはん濫や土砂災害、地震などの各種ハザードマップと併せて避難方法や防災対策情報を盛り込んだ防災マップを作成した。

##### ア 主な改訂内容

##### (ア) 内水ハザードマップの追加

(イ) マップ図面（内水はん濫、河川はん濫）の拡大（市域図を北部・中部・南部の3分割で表示）

(ウ) 避難手順の解説や防災対策情報の掲載

##### イ 作成部数

30,000 部

##### (2) 避難所看板の更新

防災マップの改訂と併せて、向日市地域防災計画で指定している避難所や一時避難場所の案内看板を世界共通のマークに更新した。

#### 2 避難行動要支援者名簿整備事業

災害対策基本法に基づき、警察や消防機関、市社会福祉協議会などと情報共有するため、避難行動要支援者名簿の整備を行った。

#### 3 防災パトロールの実施

梅雨を迎えるに当たり、応急活動時に拠点となる施設の状況を把握するために関係機関と合同で視察を行った。

(1) 実施日 平成27年5月14日（木）

(2) 視察箇所 いろは呑龍トンネル南幹線、南部防災拠点

(3) 出席者 市長ほか31人

#### 4 防災会議の開催

(1) 開催日・場所 平成28年3月25日（金） 市民会館

##### (2) 内容

ア 向日市地域防災計画の見直し(案) について

イ 平成27年度 防災事業報告について

ウ 平成28年度 防災事業(案) について

## 5 防災対策

### (1) 防災に関する協定の締結

避難場所や避難手段の確保など災害時の連携強化を目的として実施した。

協 定 先	締 結 日
三菱電機（株）京都製作所	平成28年1月5日
都タクシー（株）	平成28年2月19日
（株）ゼンリン	平成28年3月7日

### (2) 市職員の災害対応能力の向上

職員研修及び緊急時非常参集訓練、向日市消防団との合同水防訓練を行った。

## 6 啓発事業等

(1) 「防災とボランティア週間」の取組として、市役所ロビーにおいて阪神淡路大震災・東日本大震災の写真パネルや京都西南部活断層地図、淀川浸水想定地図、防災グッズ、備蓄物資等の展示（防災パネル展）を行った。

(2) 「広報むこう」等を活用し、市民への防災意識の高揚に努めた。

(3) 出前講座を通して、市民の防災意識の向上に努めた。

(4) 向日市まつりにおいて、防災コーナーを設置し、啓発を行った。

## 7 向日市防災訓練

防災対策を総合的かつ効果的に推進し、市民の防災意識の高揚及び防災関係機関相互の連携を図るため、地域の自主防災組織、防災関係機関等の参加協力のもとに、市民参加型の体験訓練などを含めた総合防災訓練を実施した。

(1) 日 時 平成27年9月26日（土） 午前9時～午前11時55分

(2) 場 所 主会場訓練 第5向陽小学校グラウンド及び体育館  
広報・展示訓練 第5向陽小学校グラウンド及び体育館

(3) 主 催 向日市防災会議

(4) 参加団体 向日市、乙訓消防組合消防本部、向日消防署、向日市消防団、上植野自治連合会、上植野自主防災・安全会、森本地区浸水排除対策協議会、主会場周辺自治会町内会、京都府向日町警察署、（株）大阪ガス京滋導管部、関西電力（株）京都営業所、樋口鉱泉（株）、向日市商工会、向日市女性防火推進員、西向日自主防災会、向日自主防災会、（福）向日市社会福祉協議会、向日市民生児童委員連絡協議会、向日市指定上下水道協同組合、向日市水道メンテナンス（株）、乙訓防火・危険物安全協会、（一社）乙訓医師会、医療法人真正会向日回生病院、医療法人回生会介護老人保健施設ケアセンター回生、（福）向陵会、（福）向陽福祉会、陸上自衛隊福知山第7普通科連隊、近畿地方整備局淀川河川事務所、市内事業所 他

(5) 内 容

ア 主会場訓練

- (ア) 現地対策本部設置運用訓練
- (イ) 現地災害対策本部長到着訓練
- (ウ) 避難所開設訓練
- (エ) 救出救助訓練
- (オ) 救護所開設訓練
- (カ) 被害状況調査報告訓練
- (キ) 住民避難誘導訓練
- (ク) 災害時要配慮者安否確認訓練
- (ケ) 初期消火訓練
- (コ) 応急給水訓練
- (サ) 炊き出し・配給訓練
- (シ) 水中歩行体験訓練
- (ス) 災害ボランティア設置訓練
- (セ) 福祉避難所開設訓練

イ 広報・展示訓練

- (ア) 起震車による体験コーナー
- (イ) 煙体験コーナー
- (ウ) パネル展示コーナー
- (エ) 木造建築耐震診断申込コーナー
- (オ) 非常食試食コーナー
- (カ) 飲料水製造実演コーナー
- (キ) ガス啓発コーナー
- (ク) 向日町警察署災害用資機材展示コーナー
- (ケ) 東日本大震災支援報告コーナー
- (コ) 木造住宅倒壊模型コーナー
- (サ) 避難所運営ゲーム（HUG）体験コーナー

(6) 参加者 1,500人

8 向日市シェイクアウト訓練

東日本大震災から5年目となる日に乙訓二市一町及び京都市、向日市内事業所等関係団体と合同で、地域の防災力の向上と防災一斉行動訓練を通じて、自分の身は自分で守る「自助」の意識を普及させる目的で実施した。

(1) 日 時 平成28年3月11日（金）

(2) 参加団体 乙訓二市一町及び京都市、向日市内小中学校、市内保育所、市内各事業所、市民  
参加人数 約8,000人

## 9 災害記録

(1) 大雨洪水警報等により、災害警戒本部を設置し、防災体制に万全を期した。

日時	種別	動員数	避難情報	開設避難所	避難者	備考
7月17日 ～18日	災害警戒 本部	50人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難準備情報 (21時45分)</li> <li>・避難勧告 (0時10分)</li> </ul>	物集女コミュニティ センター	3世帯6人	土のう：580袋 総雨量：280 <sup>mm</sup> 時間最大雨量： 19.5 <sup>mm</sup>
				第2保育所	6世帯20人	
				第6向陽小学校	0人	
				向日コミュニティセ ンター	0人	
				中部防災拠点	1世帯2人	
				滝ノ町保育所	1世帯2人	

## 10 自主防災組織活動の支援

(1) コミュニティ助成事業

鶏冠井区自主防災会の設立を補助するため、(一社)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)を活用し、資器材等の整備を行った。

(2) 自主防災会の活動支援として視察研修を行った。

(3) 自主防火防災用器具設置事業

自主防災組織の育成強化を図るため、自主防火防災用器具設置事業補助規則に基づき、防火防災用器具を設置する町内会等の自主防火防災組織に対して、防災用器具設置事業費、消火器具設置事業費、消火薬剤詰替事業費の補助金を交付した。

ア 防災用器具設置町内数 3組織

イ 消火器設置補助町内会数 34組織

粉末消火器 188本

格納箱 63個

ウ 消火薬剤詰替補助町内会数 6組織

粉末消火器 41本

泡消火器 0本

## 11 その他

水害に強い地域づくり協議会 7月、10月、11月、3月